

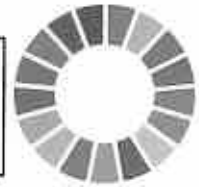


# 川崎市立田島中学校 社会科 学習案内

担当者：小林未来、稲葉明日香

## 【教科目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を育成する。



## 【評価の観点】

知識・技能	我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。








## 【評価の方法】

知識・技能	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題への取り組み
思考・判断・表現	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題における思考及び表現力
主体的に学習に取り組む態度	・授業やノート（ワークシート）への取り組みの様子・定期テストの取り組み ・課題における取り組み

## 【学習方法】

- ・授業準備をしっかりと行い、積極的に発言し、熱心に話し合い活動や作業を進める。
- ・板書を写すだけでなく、教師や級友の発言をメモしたり、調べたことをノートに書き込む等、工夫する。
- ・ワークシートでの作業や課題を自ら積極的にを行い、黒板を写すだけにならないようにする。
- ・授業中に文字の色や声、資料の貼り付けなどで強調したところから重点的に学習を進めていく。
- ・ニュースや新聞などから、学習内容と日常生活の関連を見つけ出し、社会の動向を探る姿勢を持つ。

第1学年

月 回数		地理的分野	歴史的分野	知識	思考	主体的・キャリア	SDGs	学びの
前期 (52)	4 7	第1編 世界と日本の地域構成 第1章 世界の地域構成 【5】 第2章 日本の地域構成 【4】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			課  MP
	5 11		第1章 歴史のどらえ方・調べ方 【6】 1 私たちと歴史 (3) 2 身近な地域の歴史 (3) 第2章 原始・古代の日本と世界 【17】 1 人類の出現と文明のおこり (5) 2 日本の成り立ちと倭の王権 (3) 3 大帝国の出現と律令国家の形成 (3) 4 貴族社会の発展 (4) 学習のまとめと表現 (2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		課  MP
	6 12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			課  MP
	7 7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			予備 【5】					
後期 (53)	9 11	第2編 世界のさまざまな地域 第1章 世界の人々の生活と環境 【8】 第2章 世界の諸地域 【16/28】 1 アジア州 (7) 2 ヨーロッパ州 (6) 3 アフリカ州 (3)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		人  MP
	10 12		第3章 中世の日本と世界 【15】 1 武家政治の始まり (5) 2 ユーラシアの動きと武家政治と変化 (5) 3 結びつく民衆と下層上の社会 (3) 学習のまとめと表現 (2)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		課  MP
	11 12			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
	12 7			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			予備 【5】					
1 9	第3章 世界の諸地域 【12/28】 4 北アメリカ州 (5) 5 南アメリカ州 (4) 6 オセアニア州 (3)			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		人  MP	
2 12		第4章 近世の日本と世界 【7/20】 1 結びつく世界との出会い (4) 2 天下統一への歩み (3)		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			 MP
3 5		予備 【7】		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
105		地理 45 / 歴史 52 (予備8)						

# 1 学年 数学の学習

川崎市立田島中学校 数学科  
担当者 村木涼子、小林一之

## 1. 教科目標

- (1) 数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の課程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。

## 2. 評価の観点とその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見だし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。

## 3. 評価の方法

### 「知識・技能」の評価

〈評価資料〉

- ・定期テスト
- ・小テスト
- ・学習課題（プリント）の内容

### 「思考・判断力・表現」の評価

〈評価資料〉

- ・定期テスト
- ・小テスト
- ・学習課題（プリント）の内容

### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

〈評価資料〉

- ・学習記録（学習課題、プリント、問題集、宿題への取り組みの様子）
- ・授業観察（授業の取り組みの様子、発表の表現活動）

# 令和7年度 数学科 第1学年 年間指導計画

担当 村木涼子、小林一之

月	章	単元	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	キャリア	SDGs	MP
4	1章 整数の性質	1 整数の性質 ・素因数分解とその活用	素因数、累乗の表し方について理解する。 素因数分解を利用して約数や最小公倍数を求める。	◎		○			
		2 正の数、負の数 ・符号のついた数 ・数の大小	符号のついた数について理解する。数の大小関係を適切に判断する。	◎		◎	課		
5	2章 正の数、負の数	2 加法と減法 ・加法・減法 ・加法と減法が混ざった式	正の数、負の数の計算の仕方を理解し、加法、減法をする。	◎		○		SDGs 4	
		3 乗法と除法 ・乗法 ・除法 ・四則の混じった式の計算	正の数、負の数の計算の仕方を理解し、乗法、除法をする。	◎		○			
6	3章 文字と式	4 正の数、負の数の活用	身の周りがあることがらを正の数、負の数を使って考える。		◎	◎	キャ		
		1 文字を使った式 ・文字の式 ・式の表し方 ・数量の表し方 ・式の値	文字を使う意味を理解する。文字の表し方を理解する。式の値を求める。	◎		◎			
7	4章 方程式	2 文字を使った式の計算 ・項と係数 ・1次式の加法、減法 ・1次式と数の乗法、除法	1次式と数の乗法、除法を計算する。加法、減法を計算する。		◎	○		SDGs 4	
		3 文字を使った式の活用 4 数量の関係を表す式	文字を使った式を身の周りの事象を表すことに使う。 等しい数量の関係を式で表す。式の大小関係を不等式で表す。		◎	○	キャ 課		
8	5章 関数	1 方程式とその解き方 ・方程式とその解 ・等式の性質 ・方程式の解き方 ・いろいろな方程式	方程式とその解の意味について理解する。 方程式を解く。	◎		○	課		
		2 方程式の活用 ・方程式の活用 ・比例式とその活用	方程式を使って問題を解決する手順を理解する。		◎	◎	キャ		
9	6章 比例と反比例	1 関数	関数、変数、変域の意味について理解する。	◎		◎			
		2 比例 ・比例の式 ・座標 ・比例のグラフ	関数の意味を理解する。伴って変わる2つの数量について、表、式、グラフを使って表す。	◎		○	課		
10	7章 平面図形	3 反比例 ・反比例の式 ・反比例のグラフ	反比例を表、式、グラフに表したり、その特徴を調べたりする。	◎		○	課		
		4 比例、反比例の活用	関数の考えを利用して、身のまわりの問題を解決しようとする。		◎	◎	キャ		
11	8章 空間図形	1 平面図形の基礎 ・点と直線 ・円	対称な図形や図形の移動の性質を調べたり、図形を対称性に着目して調べたりする。	◎		◎			
		2 作図 ・基本の作図 ・いろいろな作図	基本的な作図のしかたを対称性に着目して考えたり、いろいろな作図のしかたを統合的に考えたりする。	◎		○			
12	9章 データの分析	3 図形の移動	図形の移動しかたについて、他に移動のしかたがないかどうか調べる。	◎		○			
		4 円とおうぎ形の計量 ・円の周の長さ ・面積 ・おうぎ形の弧の長さ ・面積	円周や円の面積を $\pi$ を使って表す。おうぎ形の弧や面積について中心角の比と関連付けながら考える。	◎	◎	○	課		
1	10章 確率	1 空間図形の基礎 ・いろいろな立体 ・直線と平面	直線や平面の位置関係や、柱体、錐体の特徴や性質を理解する。	◎		○			
		2 立体の見方と調べ方 ・線や面を動かしてできる立体	回転体、回転の軸、母線の意味を理解する。空間図形を見取り図などで表す。		◎	○			
2	11章 確率	3 立体の体積と表面積 ・立体の体積 ・立体の表面積	立体の体積や表面積を求めたり、その求め方を説明したりする。		◎	○			
		1 データの整理と分析 ・度数の分布 ・代表値等	表や代表値から全体的特徴をとらえ、判断したり説明したりする。		◎	○	課		
3	12章 確率	2 データにもとづく確率 ・ことごらの起こりやすさ	多数の観察や多数回の試行の結果から確率を求める。		◎	◎	課		

MP  
各章ごと

# 1 学年 理科の学習

川崎市立田島中学校 理科

担当者 松本 龍之介

## 1. 教科目標

科学的な見方・考え方を育てるための学習内容を考え、深い学びにつながる授業の工夫をする。

## 2. 評価の観点とその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### (1) 第1分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
物質やエネルギーに関する観察、実験などを行い、それらの事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	物質やエネルギーに関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	物質やエネルギーに関する事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

### (2) 第2分野

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命や地球に関する観察、実験などを行い、それらの事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生命や地球に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど科学的に探究している。	生命や地球に関する事物・現象について進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

## 3. 評価の方法

### (1) 内容のまとめ

#### 【第1分野】

イ.身近な物理現象    ロ.身の回りの物質    ハ.電流とその利用    ニ.化学変化と原子・分子  
ホ.運動とエネルギー    ヘ.化学変化とイオン    ト.科学技術と人間

#### 【第2分野】

イ.いろいろな生物とその共通点    ロ.大地の成り立ちと変化    ハ.生物の体のつくりと働き  
ニ.気象とその変化    ホ.生命の連続性    ヘ.地球と宇宙    ト.自然と人間

上に示した新学習指導要領の第1分野および第2分野の項目イ～トを内容のまとめとします。そのまとめごとに設定されている評価規準に従い、前頁2に示した3つの観点ごとにA<sup>+</sup>、A、B、C<sup>+</sup>、Cの5段階で評価します。具体的な方法を次に示します。

### (2) 観点別評価の趣旨と方法

#### 「知識・技能」の評価

目的意識を持って観察・実験に取り組み、正しく操作しながら行えたか、結果をしっかりと処理できたかを評価します。

##### 〈評価資料〉

実験レポートの方法、結果の内容。実験・観察中の取り組み。実験器具の基本的操作の習得ができているかなど。各種テスト（定期テスト、小テストなど）の結果。

#### 「思考・判断力・表現」の評価

実験や観察の結果に対して、自分の考えをまとめる力、科学的な表現力が養われているかを評価します。

##### 〈評価資料〉

各種テスト（定期テスト、小テストなど）の結果。実験レポートの考察の内容。

#### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

身のまわりの事象・現象に対する関心や、理科の学習（座学・実験等）に取り組もうとする意欲や態度を評価します。

##### 〈評価資料〉

実験レポートの振り返りの内容。発言や発表などの学習活動の状況、夏の自由研究における取り組み。



令和8年度 第1学年 理科年間指導計画

担当 松本 龍之介

月	単元	章	学習内容	評価			学びのプラン
				知	思	主	
4月 (8)	自然の中にあふれる生命 (8)	序章 自然の中にあふれる生命	1 自然観察のポイント		○	○	
2 身のまわりの生物の観察			◎	○			
5月 (10)	[生命] いろいろな生命とその共通点 (18)	いろいろな生物とその共通点	3 生物のなかま分けのしかた		○	○	MP①
			1 花のつくり		○		
			2 子葉、葉、根のつくり		○		
			3 種子をつくらない植物		○		
6月 (12)	[物質] 身のまわりの物質 (27)	2章 動物の特徴と分類	4 植物の分類		◎	○	MP②
			1 動物の体のつくりと生活		◎	○	
			2 背骨のある動物		◎	○	
			3 背骨のない動物		◎	○	
7月 (6)	[物質] 身のまわりの物質 (27)	力だめし	4 動物の分類		◎	○	MP③
			身まわりの物質			○	
8月 9月 (11)	[物質] 身のまわりの物質 (27)	1章 いろいろな物質とその性質	1 物質の区別	◎	○		MP④
			2 重さ・体積と物質の区別	◎	○		
10月 (12)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (25)	2章 いろいろな気体とその性質	1 気体の区別		○	◎	MP⑤
			2 身のまわりの気体の性質		○	◎	
11月 (12)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (25)	3章 水溶液の性質	1 物質のとけ方		○	◎	MP⑥
			2 濃さの表し方		○	◎	
12月 (7)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (25)	3章 水溶液の性質	3 溶液のとり出し方		◎	○	MP⑥
			4 物質のすがたとその変化		○	○	
1月 (9)	[地球] 活きている地球 (24)	1章 身近な大地	1 物質のすがたとその変化		○	○	MP⑦
			2 状態変化と温度		○	○	
2月 (12)	[地球] 活きている地球 (24)	2章 ゆれる大地	3 混合物の分け方		○	○	MP⑧
			1 物質のすがたとその変化		○	○	
3月 (6)	[地球] 活きている地球 (24)	3章 火をふく大地	2 状態変化と温度		○	○	MP⑧
			3 混合物の分け方		○	○	
3月 (6)	[地球] 活きている地球 (24)	4章 語る大地	1 物質のすがたとその変化		○	○	MP⑧
			2 状態変化と温度		○	○	
補充・深化(1)		活きている地球					
補充・深化(2)		光・音・力による現象					
10月 (12)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (25)	1章 光による現象	1 光の進み方	◎	○	○	MP⑤
			2 光が通りぬけるときのようす		○	○	
11月 (12)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (25)	2章 音による現象	3 レンズのはたらき		○	◎	MP⑤
			1 音の伝わり方		○	○	
12月 (7)	[エネルギー] 光・音・力による現象 (25)	3章 力による現象	2 音の大小と高低		○	○	MP⑥
			1 力のはたらき		◎	○	
1月 (9)	[地球] 活きている地球 (24)	3章 火をふく大地	2 力の大きさのはかり方		○	◎	MP⑥
			3 重さと質量		○	○	
2月 (12)	[地球] 活きている地球 (24)	4章 語る大地	4 力の表し方		○	○	MP⑧
			1 一つの物体に2つの力がはたらくとき		○	○	
3月 (6)	[地球] 活きている地球 (24)	4章 語る大地	1 身近な大地の変化		○	○	MP⑦
			2 地域の大地の観察		◎	○	
1月 (9)	[地球] 活きている地球 (24)	2章 ゆれる大地	1 ゆれの発生と伝わり方		◎	○	MP⑦
			2 ゆれの大きさ		○	○	
2月 (12)	[地球] 活きている地球 (24)	3章 火をふく大地	3 日本列島の地震		○	○	MP⑧
			1 火山の噴火		○	○	
3月 (6)	[地球] 活きている地球 (24)	4章 語る大地	2 マグマの性質と火山		○	○	MP⑧
			3 マグマからできた岩石		○	○	
1月 (9)	[地球] 活きている地球 (24)	3章 火をふく大地	4 日本列島の火山		○	○	MP⑧
			1 地層のでき方		○	○	
2月 (12)	[地球] 活きている地球 (24)	4章 語る大地	2 地層の岩石		◎	○	MP⑧
			3 地層・化石と大地の歴史		◎	○	
3月 (6)	[地球] 活きている地球 (24)	4章 語る大地	4 大地の恵みと災害		○	○	MP⑧
			1 身近な大地の変化		○	○	

# 英語科第1学年 年間指導計画




担当者 何 静怡

## 1) 教科目標

外国語を通じて、言語に対する理解を深め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

## 2) 評価規準

観点	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>【知識】 英語の特徴や決まりに関する事項を正確に理解している。</p> <p>【技能】</p> <p><u>聞くこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p><u>読むこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p> <p><u>話すこと（やりとり・発表）</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。</p> <p><u>書くこと</u> 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p><u>聞くこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題についてははっきりと話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p><u>読むこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。</p> <p><u>話すこと（やりとり・発表）</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、話したりしている。</p> <p><u>書くこと</u> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>	<p><u>聞くこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞き取ろうとしている。</p> <p><u>読むこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。</p> <p><u>話すこと（やりとり・発表）</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしたり、話そうとしたりしている。</p> <p><u>書くこと</u> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。</p>
評 価 資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・定期テスト</li> <li>・リスニングテスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・言語活動の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・定期テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシート</li> <li>・言語活動の取り組み</li> <li>・パフォーマンステスト</li> <li>・作文ノートの取り組み</li> <li>・振り返りシート</li> </ul>

Let's Be Friends!			キャリア 人	SDGs	学 び の プ ラ ン
単元目標: 自己紹介を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと】 伝えたい情報を整理して、自己紹介をすることができる。【話すこと】	時間	32/ /時期 4~7月			
言語材料: 気持ちや状態を表す言葉、色、 国名、日付、アルファベット	言語の使用場面/相づちを打つ、お礼を言う、聞き返す、質問する				
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ読むこと、話すこと(やりとり) ウ読むこと、話すこと(やりとり)			人		
Unit 1 Here We Go!					
単元目標: 会話からその人の情報を聞き取ることができる。 自己紹介カードに自分の情報を書くことができる。	時間	32/ /時期 4~7月			
言語材料: be 動詞 am、一般動詞 like、 助動詞 can	言語の使用場面/学校での学習や活動/相づちを打つ、礼を言う、発表する				
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、書くこと ウ聞くこと、書くこと			キ		MP ①
Unit 2 School Activities / World Tour 1					
単元目標: 会話から、興味のあることなどの質問を聞き取ることができる。【聞くこと】 興味のあることなどについてたずねることができる。【話すこと】	時間	32/ /時期 4~7月			
言語材料: ローマ字、be 動詞 are、 疑問文 Do ~?、Can ~?	言語の使用場面/学校での学習や活動/話しかける、説明する、質問する				
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、話すこと(やりとり) ウ聞くこと、話すこと(やりとり)			キ		
Unit 3 Enjoy the Summer					
単元目標: 会話から、話し手が夏休みにすることなどを聞き取ることができる。【聞くこと】 夏休みにすることなどについて、その場で話すことができる。【話すこと】	時間	32/ /時期 4~7月			
言語材料: Where ~? / 動名詞 / to 不定詞	言語の使用場面/地域の行事/相づちを打つ、説明する、意見を言う、質問する				
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり)、書くこと イ聞くこと、話すこと(やりとり) ウ聞くこと、話すこと(やりとり)			自・課		
Reading 1 / Active Grammar 1 / You Can Do It! 1					
単元目標: 説明文から、クイズの解答に必要な情報を読み取ることができる。/be 動詞や一般動詞、can を使った文の形や意味、働きを理解することができる。/自分のことを伝え、相手のことを知ることができる。	時間	5~7月 /時期			
言語材料: How ~? / be 動詞 / 一般動詞 / 助動詞 can	言語の使用場面/質問する/自己紹介、説明する				
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(発表) イ聞くこと、読むこと、話すこと(発表) ウ聞くこと、読むこと、話すこと(発表)			人		
Unit 4 Our New Friend / Daily Life 1 / Active Grammar 2					
単元目標: 人物の特徴の説明から、必要な情報を聞き取ることができる。【聞くこと】 伝えたい情報を整理して、人物を紹介することができる。【話すこと】	時間	36/ /時期 9~12月			
言語材料: be 動詞 is / Who ~? / Is ~? / Whose ~? / 人称代名詞	言語の使用場面/学校での学習や活動/相づちを打つ、褒める、説明する、質問する				

評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くこと イ聞くこと、話すこと（発表） ウ聞くこと、話すこと（発表）				
<b>Unit 5 Hi, David! / Daily Life 2</b>				
単元目標: チャットのやり取りから、必要な情報を読み取ることができる。【読むこと】 観光プランを考えるため、時間や場所をきき出すことができる。【話すこと】	時間 /時期	36/ 9~12月	課	MP ②
言語材料: Where ~? / 命令文 / When ~? Can I ~? / Which ~? / How much ~?	言語の使用場面/学校での学習や活動 / 相づちを打つ、褒める、説明する、意見を言う、質問する			
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと(やりとり・発表)、書くこと イ書くこと、話すこと(やりとり) ウ書くこと、話すこと(やりとり)				
<b>Unit 6 Cheer Up, Tina / Daily Life 3 / Active Grammar 3</b>				
単元目標: 人を紹介する文章を読み、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと】 友達のすてきなところが伝わる、紹介文を書くことができる。【書くこと】	時間 /時期	36/ 9~12月	人	
言語材料: is / does / 三人称単数現在形 / What time~?	言語の使用場面/学校や家庭での生活/ 相づちを打つ、謝る、説明する、質問する			
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり・発表）、書くこと イ読むこと、書くこと ウ読むこと、書くこと				
<b>Daily Life 4 / Active Grammar 4 / You Can Do It! 2</b>				
単元目標: 行き方をたずねたり伝えたりすることができる。【話すこと】 疑問詞の形や意味、働きを理解することができる。 身近な人のことを紹介することができる。【読むこと】【書くこと】	時間 /時期	36/ 9~12月	人	
言語材料: How ~? / 疑問詞	言語の使用場面/学校の学習や活動/説明する			
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと（発表） イ聞くこと、読むこと、話すこと（発表） ウ聞くこと、読むこと、話すこと（発表）				
<b>Unit 7 The New Year in Japan / Active Grammar 5 / Daily Life 5</b>				
単元目標: はがきを読み、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと】 出来事や気持ちが伝わるように、はがきを書くことができる。【書くこと】	時間 /時期	29/ 1~3月	自 ・ 課	
言語材料: 過去時制	言語の使用場面/地域の行事、手紙や電子メールのやり取り / 聞き直す、褒める、説明する、意見を言う、質問する			
2 評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、書くこと イ読むこと、書くこと ウ読むこと、書くこと				
<b>Unit 8 Getting Ready for the Party / World Tour 2 / Active Grammar 6</b>				
単元目標: 場面の様子の説明を聞き、おおまかな内容を捉えることができる。【聞くこと】 場面の様子が伝わるように、事実を説明することができる。【話すこと】	時間 /時期	29/ 1~3月	課 ・ キ	MP ③
言語材料: 一般動詞・be 動詞の過去形 / 現在進行形	言語の使用場面/家庭での生活、電話での対応 / 説明する、相づちを打つ、礼を言う、意見を言う、質問する、報告する			
評価基準 ア聞くこと、読むこと、話すこと（やりとり）、書くこと イ聞くこと、書くこと ウ聞くこと、書くこと				
<b>Let's Read 2 / You Can Do It! 3 / Let's Read More</b>				
単元目標: 物語を読んで、あらすじを捉えることができる。【読むこと】 イベントや学校を紹介することができる。【聞くこと】【話すこと】 レポートを読んで、おおまかな内容を捉えることができる。【読むこと】	時間 /時期	29/ 1~3月	課	
言語材料: 動詞の現在形や過去形の文	言語の使用場面/学校での学習や活動 / 説明する、質問する			
評価基準 ア読むこと、話すこと（発表） イ読むこと、話すこと（発表） ウ読むこと、話すこと（発表）				

\*なおミニラウンド制カリキュラムでUnit1~3, Unit4~6, Unit7~8 のまとまりで期間内の繰り返しの指導を行い、各ラウンドのまとめとしてStory retelling や You Can Do It!の活動を行う。

# 音楽の学習・評価について



○音楽（1年生）の学習内容

月	単元名	学習内容	知識技能	思・判・表	主体的	MP
4	思いをこめて美しい歌声で合唱しよう 「校歌」等	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につける。	○	○	◎	
5	情景を想像しながら音楽のよさや美しさを味わおう 四季より「春」	○「春」の音色、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、「春」のよさや美しさを味わって聴く。	○	◎	○	○
6	歌詞から情景をイメージし、表現に活かそう 「浜辺の歌」	○「浜辺の歌」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。	◎	◎	○	
7	音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう 「リズム創作」	○創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫する。	○	○	◎	
8 ・ 9 ・ 10	曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクール課題曲」 「合唱コンクール自由曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	
11	日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう 「赤とんぼ」	○「赤とんぼ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解して歌唱する。	○	◎	○	
11	アジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう 「アジアの諸民族の音楽」	○声の音色や響き及び音楽の特徴と曲種に応じた発声との関わりについて学習し取り組む。	○	◎	○	
12	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう 「魔王」	○「魔王」の曲想と音楽の構造との関わりや独唱の表現の豊かさに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。	○	◎	○	○
1	箏の基本的な奏法を身に付けようー争ー 「さくらさくら」	○楽器の音色や響きと奏法との関わりについて学ぶ。 ○創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身につける。	○	○	◎	○
2 ・ 3	仲間とともに、表情豊かに合唱しよう 「3年生を送る会合唱曲」 「卒業式に向けた合唱曲」	○歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫する。 ○創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身につける。	○	○	◎	

川崎市立田島中学校 「美術科」学習案内  
川崎市立田島中学校 「美術科」年間学習計画

担当者： 柳野修平

【学習目標】

1年生

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を養う。

2・3年生

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【評価の観点の趣旨】

観点	1年	2・3年
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫して表している。	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的にも表している。
思考・判断・表現	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と造形的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

【評価の方法】

知識・技能	・ワークシート ・作品	・テスト ・制作過程における作業状況（見通しなど）
思考・判断・表現	・振り返り ・アイディアスケッチ、下描き	・鑑賞のワークシート ・テスト
主体的に学習に取り組む態度	・作品 ・ワークシート	・振り返り ・アイディアスケッチ、下描き

※定期試験は実施しません。授業内で実技を含めたテストを実施します。

○授業や家庭での心がけについて

- ・理解した知識は使うことで、技能となります。  
→目標を達成するように自分なりに考え手を動かすことを積み重ねることで、力は身に付きます。
- ・色や形をもったものの造形的なよさや働きについて、より深く考えます。  
→色や形をもったものは世の中にたくさんあります。  
日常的に目に入ったものの色や形に関心をもって見ることを習慣づけることで、発想が豊かになります。
- ・毎回の授業を大切にします。  
→美術の授業は週に1～2回あります。授業に集中して取り組むことで目標を達成することが可能です。毎時間の目標をしっかりと聞き、何をすべきかを把握して授業に粘り強く取り組む姿勢を評価します。

○家庭では

美術科では身の周りにある、色や形を使って自分の考えることや思いをイメージとして伝えることを目標にしています。素晴らしい芸術作品を作ることが教科の目標ではありません。身近にある美術的な役割を理解し、言葉と同じように色や形などを使って自分自身を表現してみましょう。そして、それがうまく表現できるようになる為に様々な技術や知識を学んでいく教科です。自分から取り組んでいこうとする姿勢を大切



月	題材名	学習内容	MP
4月	【色彩構成】 知識・技能を高める活動	美術に必要な形や色彩について理解を深める。	MP
5月			
6月	【レタリング】 伝える、使うなどの目的や機能を考え、 デザインに表現する活動	伝えたい内容を基に、文字の形の表現効果を 考えてデザインする。	MP
7月	【水墨画】 感じ取ったことや考えたことなどを基 に、 絵に表現する活動	国語で学ぶ「オノマトペ」を基に、水墨画の技法を 用いて表現する。	MP
8月			
9月			
10月	【合唱曲アート】 感じ取ったことや考えたことなどを基 に、 絵に表現する活動	合唱曲のイメージを基に、アニメーションの技 法を用いて表現する。	
11月	【缶バッチ】 伝える、使うなどの目的や機能を考 え、 デザインに表現する活動	伝えたい内容を基に、形や色の表現効果を考 えてデザインする。	MP
12月			
1月	【鑑賞】 生活や社会を美しく豊かにする働き や、 美術文化に関する鑑賞活動	作品の鑑賞を通して社会の中で活躍する美術や 美術文化について理解を深める。	
2月	【彫刻】 感じ取ったことや考えたことなどを基 に、 彫刻に表現する活動	今の気持ちを基に、立体の技能を用いて表現す る。	MP
3月			
*材料や行事等により一部変更の可能性があります。			

## 保健年間指導計画及び評価規準(1年)

年間の授業を通して個人生活における健康・安全について、基本的な技能を身につけるために、GIGA端末を使用し「思考・判断・表現」の材料として活用していく。また、授業を通して「主体的・対話的で深い学び」につなげていく。

学期	月	(領域) 単元名	時間	学習内容	評価の観点				
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	学びのプラン	SDGs
	4	健康な生活と疾病の予防	1	健康の成り立ちと病気の発生要因	・主体要因・環境要因を良好な状態に保つことで成り立つ事を理解する。				
	5		食生活と健康	・健康を保持増進するためには、毎日適切な時間に食事することや年齢や運動量に応じて、食事の量や栄養バランスを配慮することが必要なことを理解する。					
	6		運動と健康	・運動の身体的・精神的な効果について理解し、健康保持増進を図るため、適度な運動が必要不可欠だということを理解する。					
	6		休養・睡眠と健康	・日常生活を振り返り、疲労回復するための休養のとり方を増進を図るため、適度な運動が必要不可欠だということを理解する。			○		
前期	7	心身の機能の発達と心の健康	1	体の発育・発達	・中学生の時期の各器官の発達について理解する。 ・自他の身長伸び方について、個人差や男女差等、発育発達の特徴を正しく判断できる。				
	8		呼吸器・循環器の発育・発達	・呼吸数や脈拍測定の実習を仲間と意欲的に取り組む。 ・呼吸機能や循環機能を高めるための運動には一定条件が必要なことを理解し、自分の生活に生かすための知識を身につける。					
	9		生殖機能の成熟①	・生殖器の発達や男女の体の変化は、どのような仕組みで起こるか正しく理解する。 ・性ホルモンの働きや月経・射精の起こり方、その発現年齢の個人差を理解する。					
	10		生殖機能の成熟②	・受精の仕組みについて、正しい理解を深める。 ・子宮内で起こる受精・着床が妊娠成立、生命の始まりであることを考えることができる。 ・受精・着床・妊娠成立の過程を理解する。			○		
後期	11	心身の機能の発達と心の健康	1	異性の尊重と性情報への対処	・思春期の特徴を正しく理解する。 ・性情報への適切な対処法を理解する。				
	12		知的機能と情意機能の発達	・心の発達について理解を深める。 ・精神機能の発達は、生活経験などの影響を受けて発達することを理解する。					
	1		社会性の発達と自己形成	・心の発達について理解を深める。 ・思春期においては、自己の認識が深まり、自己形成がなされることを理解する。					
	1		心と体の関わり	・心と体が互いに影響しあっていることを理解する。 ・心の健康のあり方について理解する。					
	2		欲求と欲求不満	・心の健康を保つためには、欲求やストレスに適切に対処することが必要であることを理解する。 ・欲求不満やストレスの起こり方について理解する。					
	3	心身の機能の発達と心の健康	2	ストレスへの対処と心の健康	・心の健康を保つためには、自他に対する理解を深め、ストレスや欲求に適切に対処することを理解する。 ・ストレスについての対処法について理解する。			○	

## 体育 年間指導計画 評価規準(1年)

年間の授業を通して技能向上を目指すためにGIGA端末を使用し「思考・判断・表現」の材料として活用していく。  
また、授業を通して「主体的・対話的で深い学び」につなげていく。

学期	(領域) 単元名	時間	学習内容	時数	評価の観点					
					知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	キャリア教育	学びのプラン	SDGs
前期	体育理論	3	・運動やスポーツの必要性と楽しさ	1	◎	○	○	(キ)	○	
			・運動やスポーツへの多様なかかわり方	2	◎	○	◎			
			・運動の特性と学び方	3	◎	○	◎			
	体づくり運動	7	・体ほぐしの運動	1	○	○	○	(自)	○	
			・体力を高める運動	2・3	○	○	○			
			・やわらかさと巧みな動きを高める運動	4・5	◎	○	◎			
	陸上競技	11	・短距離走・ルレー	1~2	○	○	◎	(人) (課)	○	
			・長距離走	3~6	◎	◎	◎			
			・走り幅跳び	7~11	◎	◎	◎			
	器械運動	11	・マット	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~11	◎	◎	◎			
後期	球技	12	・バスケットボール	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~12	◎	◎	◎			
	球技	12	バレーボール	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~12	◎	◎	◎			
	武道	12	・柔道	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~12	◎	◎	◎			
	ダンス	12	・ダンス	1~4	○	○	○	(人) (課)	○	
				5~8	◎	◎	◎			
				9~12	◎	◎	◎			

<技術分野>指導と評価の計画【A材料と加工の技術】（1年）



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会を支える材料と加工の技術	5	<p>○身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解する。</p> <p>○身の回りの製品に使われている材料と加工の技術を調べ、まとめることができる。</p> <p>○木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解する。</p> <p>○木材、金属、プラスチックなどの特性を調べまとめることができる。</p> <p>○目的とする加工に応じた工具や機器について理解する。</p> <p>○工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品を製作することができる。</p> <p>○構造と部材を丈夫にする方法について理解する。</p> <p>○身の回りの製品を丈夫にするための方法を調べ、まとめることができる。</p> <p>○身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気づく。</p> <p>○材料と加工の技術に込められた工夫点について考えることができる。</p> <p>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</p>	<p>○身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。</p> <p>○木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。</p> <p>○目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。</p> <p>○工具や機器を適切に選択し、安全に配慮しながら、簡単な製作品を製作できる技能を身につけている。</p> <p>○身の回りの製品を丈夫にするための方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法を理解している。</p>	<p>○材料と加工の技術に込められた工夫を読み取り「技術の見方・考え方」に気づくことができる。</p>	<p>○主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。</p>
材料と加工の技術による問題解決	17	<p>○製作に必要な図の描き方を理解し、図に表すことができる。</p> <p>○材料の選択や成型の方法などを構想して設計を具体化することができる。</p> <p>○構想について、製作の計画を立てることができる。</p> <p>○安全・適切な製作や検査・修正ができる。</p> <p>○製作の過程について考えることができる。</p> <p>○製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。</p>	<p>○製作に必要な図の描き方を理解している。</p> <p>○製作に必要な図に表すことができる技能を身につけている。</p> <p>○構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身につけている。</p> <p>○安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身につけている。</p>	<p>○材料の選択や成型の方法などを構想し、設計を具体化する力を身につけている。</p> <p>○製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身につけている。</p>	<p>○自分なりに新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重しそれらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。</p>
材料と加工の技術の最適化	2	<p>○材料と加工の技術の最適化について考えることができる。</p>	<p>○材料と加工の技術の概念について理解している。</p>	<p>○材料と加工の技術の最適化について考えている。</p>	

MP

実習時に再度MPを配布する場合があります。

<技術分野> 指導と評価の計画【B 生物育成の技術】（1年、2年、3年）



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活や社会を支える生物育成の技術	4	<p>○生物を育てる技術の目的について理解する。</p> <p>○地域で生産されている特産物とその特徴について調べ、まとめることができる。</p> <p>○作物の育成環境を調整する技術について理解する。</p> <p>○育成環境を工夫し、スプラウトを育成することができる。</p> <p>○作物の成長を管理する技術とその目的について考えることができる。</p> <p>○成長を管理する技術とその目的について考えることができる。</p> <p>○動物を健康に育てるための技術について理解する。</p> <p>○動物を育てる管理技術について、関連付けて考えることができる。</p> <p>○水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解する。</p> <p>○天然魚と養殖魚について考えることができる。</p> <p>○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。</p>	<p>○生物を育てる技術の目的について理解している。</p> <p>○作物の育成環境を調整する技術について理解している。</p> <p>○育成環境を工夫しスプラウト（1年）・トマト（2年）・二十日大根（3年）を育成することができる技能を身に付けている。</p> <p>○作物の成長を管理する技術について理解している。</p> <p>○動物を健康に育てるための技術について理解している。</p> <p>○水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。</p>	<p>○生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、「技術見方・考え方」に気付くことができる。</p>	<p>○主体的に生物育成の技術について考えようとしている。</p>
生物育成の技術による問題解決	8	<p>○技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見することができる。</p> <p>○問題を解決するために、自分なりの課題を設定することができる。</p> <p>○育成する作物に適した環境条件を考えることができる。</p> <p>○育成する目的に合わせて、栽培計画を立てることができる。</p> <p>○植物の成長の様子などを適切に観察し、記録することができる。</p> <p>○植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行うことができる。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法を考えることができる。</p>	<p>○育成する作物に適した環境条件について考えている。</p> <p>○育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。</p> <p>○植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に付けている。</p>	<p>○「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。</p> <p>○育成の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。</p>	<p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。</p> <p>○他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。</p> <p>○自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善及び修正しようとする。</p>
社会の発展と生物育成の技術	3	<p>○生物育成の技術の最適化について考えることができる。</p> <p>○生物育成の技術の光と影について考えることができる。</p> <p>○これからの生物育成の技術について考えることができる。</p>	<p>○生物育成の技術の概念について理解している。</p>	<p>○生物育成の技術の最適化について考えている。</p> <p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。</p>	<p>○よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築にむけて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。</p>

実習時に再度MPを配布する場合があります。

〈家庭分野〉指導と評価の計画【A家族・家庭生活】 《1・3年》



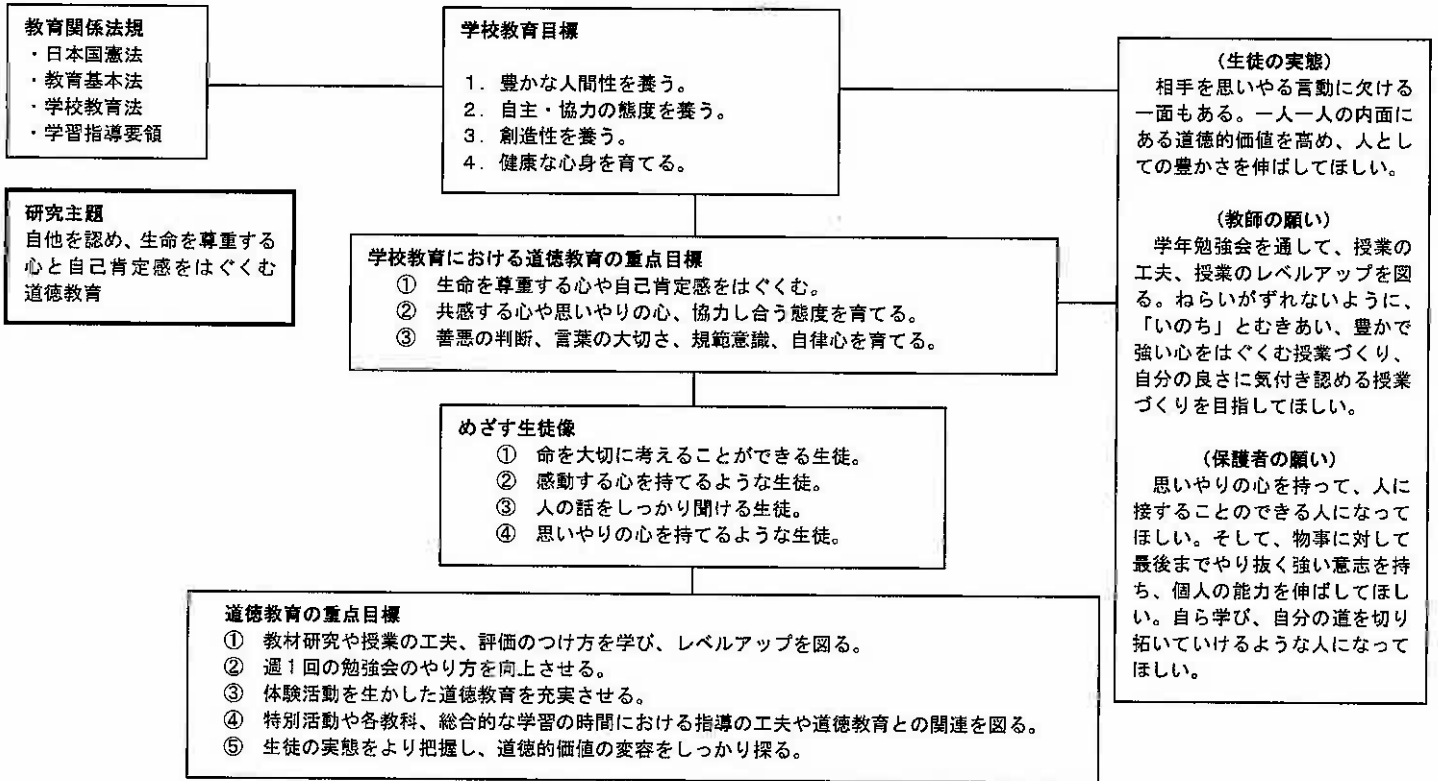
小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
ガイダンス	1年 4	○家庭分野の学習内容に見直しをつける。 ・3年間の学習活動を概観する。 ○生活が支えられていることに気づき、自立を意識する。 ・生活の自立に向けて努力すべき点を検討する。	○自分の成長を振り返り、自分自身の生活が家族や地域の人々に支えられていることを理解している。		○自分自身の生活を振り返り、生活の自立に向けてできることを考えようとしている。
自分の成長と 家族・家庭		○家族や家庭の機能と役割について理解する。 ・家族が果たしている役割や仕事には何があるか考える。	○家族・家庭の基本的な機能について理解している。 また、家族や地域の人々と協力・協働することの必要性を理解している。	○家族・家庭の機能と役割について考え表現している。	
自分の成長と 家族・家庭	3年 2	○家族・家庭の基本的な機能と役割を考えるとともに、地域の人々と協力して家庭生活を営むことの必要性を検討する。 ・家族で生活を送ることの意義を考える。	○自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり、家族・家庭の基本的な機能について理解している。また、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付いている。		
幼児の生活と 家族	12.5	○幼児の発達の特徴、家族の役割を理解するとともに、どのようなかかわり合いをするべきか考える。 ・幼児の発達の特徴や幼児の生活の特徴について知り、子どもにとっての家族の役割を考える。	○幼児の発達と生活の特徴が分かるとともに、子供が育つ環境としての家庭の役割について理解している。 ○幼児にとっての遊びの意義や、幼児とのかかわり方について理解している。	○家族関係をよりよくする方法、高齢者など地域の人々とかかわり協力・協働する方法について、問題を見出し、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどの中で、課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
家族・家庭や 地域とのかかわり	3		○家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解している。 ○家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協力・協働する必要があること、介護など高齢者とのかかわり方について理解している。	○家族関係をよりよくする方法、高齢者など地域の人々とかかわり協力・協働する方法について、問題を見出すとともに課題を設定し、解決の方向性を見出すとともに、実践を評価し、考察したことを論理的に表現するなどの中で、課題解決の工夫をする力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域とのかかわりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し、実践しようとしている。
家族・家庭 生活についての 課題と実践	(1)			○衣食住の生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身に付けている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に（適切な場合には協働で）取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

〈家庭分野〉指導と評価の計画【B衣食住の生活】

《1・2・3年》



小題材	時間	○ねらい ・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に 取り組む態度
食事の役割	2	○食事の役割と望ましい食習慣について理解する。 ・自分自身の食生活を振り返って課題を見つけ、改善策を考える。	○生活の中で食事が果たす役割について理解している。  ○中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。	○自分の食習慣について課題を見だし、解決策を考える力を身につけている。	○食事の役割や中学に必要な栄養の特徴を踏まえ、食生活における課題の解決に取り組もうとしている。
栄養を満した必要な食生活	4	○栄養の種類や食品の栄養的性質を理解するとともに、現在の自分に必要な栄養素の量がわかり、必要を満たす献立を立てられるようになる。 ・栄養の種類と概量、食品の栄養的特徴を知るとともに、必要量を満たす献立をつくる。	○栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的特質について理解している。 ○中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	○中学生である自分自身の1日分の献立について、問題を見出して課題を検討し、改善策を考えることができている。	○中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の発見や検討に主体的に取り組もうとしている。
日常食の調理と地域の食文化	17	○調理の基礎技能を基に、必要な栄養を満たすように調理の計画を立て、日常食等を調理することができる。 ・食品の安全と衛生、選択の方法についての理解をもとに、適切な方法を検討する。 ・食生活や調理における自らの課題を検討し、調理の計画立案と調理を通じて改善を図る。	○日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解している。 ○食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解している。 ○材料に適した加熱調理の方法について理解している。 ○地域の食文化について理解している。 ○基礎的な日常食等の調理において、安全で衛生的な管理のもと、材料に適した調理を実践できる。	○調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想するとともに、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現する中で、課題を解決する力を身につけている。	○よりよい生活の実現に向けて、日常食等の調理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりすることにより、生活を工夫・創造しようとしている。
衣服の選択と手入れ	9	○社会生活を送る上で求められる衣服の着用・選択と、個性を生かす着用・選択について考えられるようになる。 ・場面に合った衣服の着用と選択について例を考える。 ○衣服の状況に合わせた手入れを行い、活用できるようにする。 ・衣服の手入れの方法や活用の工夫について、事例を通して考える。	○衣服と社会生活とのかかわりについて、また目的に応じた着用、個性を生かす着用、および衣服の適切な選択について理解している。 ○衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解している。	○衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの方法について、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し、改善の方向性を考え、考察したことを論理的に表現するなどの中で、課題を解決する力を身につけている。	○衣服の選択と手入れについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
布を用いた生活のための製作	11	○目的に応じた材料の選択や、素材に合わせた縫い方を理解し、適切に製作できる。 ・素材に合った用具の取扱いを考えながら、布を用いた物を製作する。	○製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、適切に製作できる。	○資源や環境に配慮し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画と製作において、問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し改善の方向性を見出し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。	○よりよい生活の実現に向けて、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
安全な住居の住まいと方	8	○住生活を快適で安全に送ることができるよう、住空間を整えることができるようになる。 ・住居の基本的機能や、住居における安全の確保について検討し、改善策を表現する。	○家族の生活と住空間とのかかわりが分かり、住居の基本的な機能について理解している。 ○家庭内の自己の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解している。	○家族の安全を考えた住空間の整え方について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、住居の機能と安全な住まい方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫・創造し実践しようとしている。
衣食住の生活と実践	3	○衣食住の生活をよりよくすることができるようになる。 ・家族・家庭生活や消費生活・環境の視点を踏まえ、衣食住の生活についての課題を設定し、計画・実践・省察する。		○衣食住の生活に関する問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして、課題を解決する力を身につけている。	○家族や地域の人々とともに、よりよい生活の実現に向けて、衣食住の生活について課題の解決に主体的に（適切な場合には協働で）取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。



学年ごとの重点目標

1 学年目標	2 学年目標	3 学年目標	特別支援目標
<p>&lt;学年目標&gt; ◎自主・自律・自浄・自治を目指し、失敗を恐れずに挑戦できる学年</p> <p>&lt;重点項目&gt; A- (1) 自主、自律、自由と責任 B- (9) 相互理解、寛容 C- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>&lt;学年目標&gt; ◎自ら考え、よりよい行動ができる学年</p> <p>&lt;重点項目&gt; A- (1) 自主、自律、自由と責任 B- (9) 相互理解、寛容 C- (15) よりよい学校生活、集団生活の充実 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>&lt;学年目標&gt; ◎気づき考え行動できる学年</p> <p>&lt;重点項目&gt; A- (3) 向上心、個性の伸長 B- (9) 相互理解、寛容 C- (13) 勤労 D- (19) 生命の尊さ</p>	<p>&lt;学級目標&gt; 一人ひとりの主体性や充実感を大切に、たくましく生きていける力を育成する。</p> <p>&lt;重点項目&gt; A- (1) 自主・自律・自由と責任 B- (7) 礼儀 C- (13) 勤労 D- (22) よりよく生きる喜び</p>

教科	道徳	特別活動	総合的な学習の時間・領域外	家庭地域社会
<p>国語 基礎学力の定着と主体的に取り組むための指導の工夫</p> <p>社会 集団や社会への関心と、その一員としての自覚を育む生徒の育成</p> <p>数学 生徒の主体的な活動を通して、基礎・基本の定着を図り、深い学びを目指す授業</p> <p>理科 科学的な見方・考え方を育てるための学習内容を考え、深い学びにつながる授業の工夫</p> <p>音楽 音楽の良さや美しさを味わい、思いをもって豊かに表現する生徒を育てる</p> <p>技・家 学ぶ意欲を伸ばすための学習指導の充実</p>	<p>美術 表現や鑑賞の活動を通して造形的な視点を豊かにする工夫</p> <p>外国語 自分の考えをもち、学び合いの中で発信しながら、お互いに認め合い、自己肯定感を高められる授業づくり</p> <p>保健体育 見方・考え方を働かせ、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指すための資質や能力を育てる学習指導と評価の工夫</p> <p>体育 見方・考え方を働かせ、生涯にわたって運動に親しみ豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育てる学習指導と評価の工夫</p>	<p>道徳の時間は、全領域で行われる道徳教育との関連を図り、要となり、系統的に、深化・補充・統合する。また、道徳の時間は、資料および地域の方々に協力してもらい、年間計画に沿ってねらいの重点化を図りつつ、指導目標を達成する。</p> <p>多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につけるようにする。</p> <p>相手の立場に立って考えたり、思いやりのある行動ができたことなどの好ましい人間関係を育て、所属感・存在感のある学級活動が図れるようにする。</p> <p>道徳性の高揚を目指し、生徒が自ら考え、正しい判断のもとに責任を持って行動できるようにする。</p>	<p>社会の一員として、自立して生きる力を育てる。</p> <p>あらゆる体験活動を通して豊かな心を持つ生徒を育てる。</p> <p>体験活動を日常のすべての体験に生かすことのできる指導を工夫する。</p> <p>保護者・地域の方々と連携を図りながら、充実した道徳の授業を実践する。</p> <p>全教育活動を通して道徳的価値を見いだせるように工夫する。</p>	<p>地域の行事などを通して、社会連帯の自覚が高まるように、協力する。</p> <p>保護者・地域との連携を密にして学校教育の目標達成のための協力を得る。</p>

道徳実践の場  
学級経営

## 学級活動年間指導計画 (1学年)

- 学級活動 1 学級や学校の生活づくりへの参画  
 2 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康教育  
 3 一人一人のキャリア形成と自己実現

目標 : 自主・自律を目指し、失敗を恐れず挑戦できる集団を目指す。

月	題 材	学級活動			生徒会	学校行	活 動 内 容
		1	2	3			
4	◇中学校生活の出発	◎	○	○			・中学生としての心構えや、抱負、希望を書いたり発表したりする。
	◇私たちの学級	◎			○		・学級内での委員や係を決める。 ・学級目標や約束事を決める。 ・班活動の仕事や清掃の確認を行う。
	◇生徒会活動を理解しよう	◎			◎		・生徒一人ひとりが生徒会員であることを自覚する。 ・生徒会の組織や活動の内容を理解する。
	◇体育祭に向けて	◎	○		○	◎	・体育祭の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。 ・選手や応援団員を選出し、役割を決める。
5	◇教室環境を整えよう	◎		○			・教室内の掲示物についての作成計画を立て、実施する。 ・教室環境を整えるための具体的な方法や個々の役割について話し合う。
	◇体育祭への参加と反省	◎	○		○	◎	・体育祭を振り返り、学級や個人の目標が達成できたかを考え、話し合う。
	◇中間テストに向けて			◎		○	・学習の仕方や計画の立て方を話し合い、自分自身の学習目標や、学習計画を立てる。
	◇生徒総会に向けて	◎	○	○	◎		・生徒総会の議案書の検討を行い、活動計画案や予算案などへの質問や意見を集約する。
6	◇学級活動の見直し	◎	○	○			・日々の学級活動について、改善点を考え、これからの学級活動の活性化を図る。
	◇新体力テストに向けて		◎			◎	・新体力テストの目的や意義を理解し、意欲的に取り組もうとする。
7	◇夏休みの計画と過ごし方	○	○	○			・学習や部活動、家庭や地域での活動など、有意義な生活ができるよう計画を立てる。
8	◇夏休みを振り返って	○	○	○			・しおりをもとに、これからの学習や生活のめあてを持つ。
9	◇緊急時の対応	○	◎			◎	・地震災害などの非常時を想定し、対処方法を考える。
	◇期末テストに向けて			◎		○	・学習目標や計画を立てる。
	◇生徒会役員選挙	◎		○	◎		・立会演説会等の選挙活動に関わり、生徒会本部役員にふさわしい候補者を選ぶ。
	◇合唱コンクールへ向けて	◎	○		○	◎	・合唱コンクールの意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇学期のまとめと反省	◎	○	○			・1学期の振り返りを行い、学級や個人の成果と反省を考える。
10	◇学級組織の再編成	◎			○		・前期の活動を振り返り、後期の委員や係を決める。
	◇文化祭に向けて	◎	○		○	◎	・文化祭の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇文化祭への参加と反省	◎	○		○	◎	・しおりや反省用紙をもとに、文化祭の目的がどれだけ達成できたかを話し合う。
	◇学級活動の見直し	◎			○		・班や係活動を見直し、学級をさらに向上させるための話し合いを行う。
11	◇合唱コンクールへの参加と反省	◎	○		○	◎	・合唱コンクールの意義や目的をどれだけ達成できたかを話し合う。
	◇進路と生活			◎			・自分自身を客観的に判断し、他人からのアドバイスをもとに、自分自身を見つめる。
12	◇健康な生活	◎	○				・球技大会を通して、クラスの親睦を深める。
	◇自然教室に向けて	◎	○			◎	・自然教室の意義や目的を知り、学級や班でどのように参加すればよいかを話し合う。
	◇1年間の振り返りと冬休みの過ごし方	○	○	○			・1年間の振り返り、自分自身の課題や反省点について、発表したり、書いたりする。
1	◇新しい年を迎えて	○	○	○			・新年の抱負を発表したり、掲示物として作成したりする。
	◇自然教室への参加	◎	○		○	◎	・自然教室を通して仲間との絆を深め、集団生活の向上を図る。
	◇自然教室の反省	◎	○		○	◎	・自然教室の意義や目的を知り、どれだけ達成できたかを話し合う。 ・自然教室の成果と反省を壁新聞や個人新聞にまとめ、発表する。
2	◇学年末テストに向けて			◎		○	・1年間の学習を振り返り、目標・計画を立てる。
	◇3年生を送る会に向けて	○			◎		・3送会の企画を検討し、会の準備を行う。
3	◇生徒総会に向けて	◎	○	○	◎		・1年間の生徒会活動を振り返り、次年度の生徒会活動の向上させるための話し合いを行う。
	◇卒業式に向けて	○				◎	・中学校の大きな節目の式典にふさわしい気持ちと態度で参加する。 ・卒業生に感謝の気持ちを伝える方法を考え、話し合う。
	◇健康な生活	◎	○				・球技大会を通して、クラスの親睦を深める。
	◇今年度を振り返って	○	○	○			・1年間の振り返りを行い、成果と反省を見出し、発表する。
	◇春休みの生活と新年度の準備	○	○	○			・春休みの過ごし方を確認し、生活の計画を立てる。

## 第1学年 総合的な学習の時間 年間計画

月	時数	学習内容・ねらい	観点			キャリア在り方生き方教育の視点				SDGs
			知	思	主	人	自	課	キャ	
4	1	オリエンテーション	○				○			
5	4	○地域について知ろう								
6	4	・私たちが住む地域について知る ○校外学習を通して、かわさきの魅力を探ろう			○		○		○	
7	4	○学んだことをまとめよう		○			○			
9	4	・学んだことはいろいろな人に発信しよう								
10	4	○SDGsについて考えよう	○		○				○	
11	4	・身の回りのSDGsを調べよう。								
12	6	○自分にできることは何かについて考えよう								
1	6	○自然教室を通して、仲間とともに共生*協働について考えよう			○		○	○	○	
2	6	・集団生活について ・ハケ岳について								
3	6	○1年間の取り組みを振り返ろう			○				○	

観点：知=知識及び技能、思=思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

キャリア在り方生き方教育の視点：人=人間関係形成・社会形成能力 自=自己理解・自己管理能力 課=課題対応能力 キャ=キャリアプランニング能力